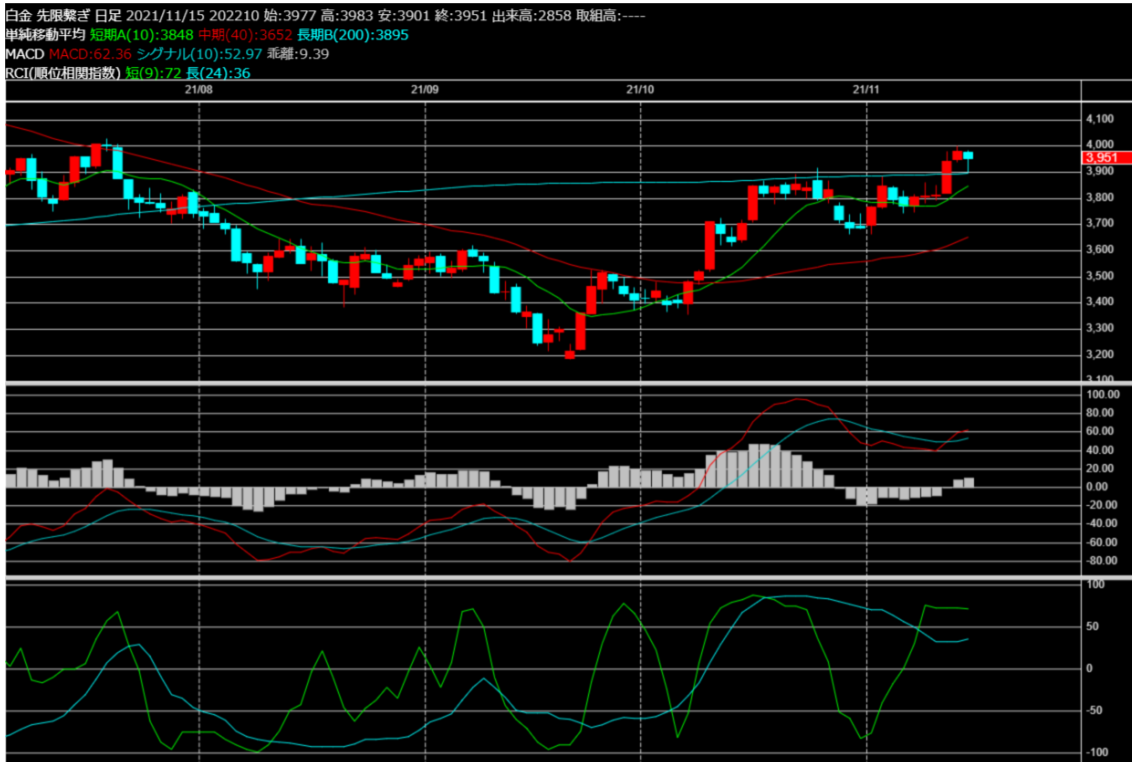


＜白金標準先物、3900 円以下で再度買い場のチャンス・・・＞



(出所：オアシス)

南アフリカの9月の鉱業生産は前月比で3.4%減少している。特に石炭やPGM（白金族）、金の減少が影響しており、減少は7月から3ヵ月連続となっている。また消費者物価指数（CPI）の発表を受けた金価格の反発や中国の不動産大手恒大集団の3度目のデフォルト回避の動きなどを受けて、白金標準先物は7月以来の4002円まで高値を試している。

特に6月16日にFOMCでパウエルFRB議長が「資産購入の規模縮小について当局者らが協議を始めた」と言及しテーパリングの要因で4132円から下落を行なっている。特に今月のFOMCで開始の宣言を行うなど、市場でテーパリングの材料が一巡した事を受けて白金標準先物は下げだした水準へ回帰していく値動きが今後は予想される。

そのため先週の高値追いで4000円の壁を意識しているが、今週に下値が固まると白金標準先物のアノマリーの値動きから年末から年始に掛けて、FOMCを受けて下落が始まった4132円に向けた値動きが予想される。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが上昇しながらシグナルが切り上げている。またRCIでも短期が長期を上回り横ばいし、長期が切り上げだすなど強気は維持されているように思われる。

＜データ＞

NYMEX 指定倉庫在庫（トロイオンス）：486825（前週比-10728）

世界プラチナETF残高（トン）：71.88（前週比-0.18）

2021年11月15日

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 347,500 円(2021年11月15日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 33,000 円(2021年11月15日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>